



『くだもの』

平山 和子／さく
福音館書店

みずみずしくリアルに描かれた、おいしいそうなくだもの。「さあ どうぞ。」さしだされたくだものは、子どもからの視点で表現されています。だから思わず手を出して…、ばくっ。



『びりびり』

中新井 純子／作
童心社

色紙をびりびりとやぶってみると、いきもののかたちになりますよ。何になるのかな？イラストもことばも楽しい、親子で笑顔になれる絵本です。



『ぽんちんぱん』

柿木原 政広／作
福音館書店

いろいろな種類のおいしそうなおパン。ページをめくるとそこに表情が現われます。ことばの響きもリズムカル。繰り返し読んでいくうちに、お子さんもまねして口ずさむようになってきますよ。



『ぴょーん』

まつおか たつひで／作・絵
ポプラ社

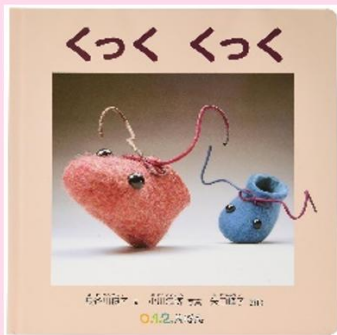
いろいろないきものが元気に「ぴょーん」とジャンプ。まだジャンプができない子も、体を上に伸ばすような動きでまねしたくなります。ダイナミックさが感じられる縦開きの絵本。



『でてこい でてこい』

はやし あきこ／さく
福音館書店

色とりどりの紙から動物が飛び出てきます。次は何がでてくるのかな？「でてこい でてこい」と呼びかけてみましょう。シンプルなイラストですが、動物たちの動きは躍動感にあふれています。



『くっくくっく』

長谷川 摂子／文
小川 忠博／写真
福音館書店

くつの動きやくつひもの動作で豊かな表情を見せてくれるベビーシューズたち。リズムカルでとぼけたことばも楽しい写真絵本。声に出して読んでいるうちに、自然と笑顔があふれてきます。



『れいぞうこ』

新井 洋行／作・絵
偕成社

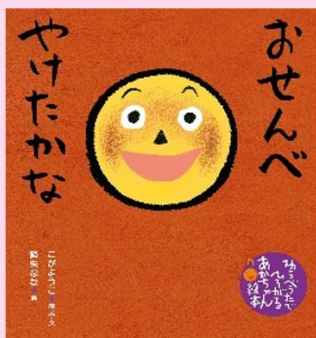
冷蔵庫を開けて、食べ物と呼ぶと「はい。」とお返事。何が入っているのかな？食べ物表情やオノマトペも可愛い絵本。表紙は冷蔵庫そのもので、扉を開けるわくわくが味わえます。



『あー・あー』

三浦 太郎／さく・え
童心社

小さな子どもたちが口にすることばを可愛いイラストとともに楽しめます。一緒に読んでいるうちに自然と親子でのおしゃべりに花が咲きますよ。



『おせんべやけたかな』

こが ようこ／構成・文
降矢 なな／絵
童心社

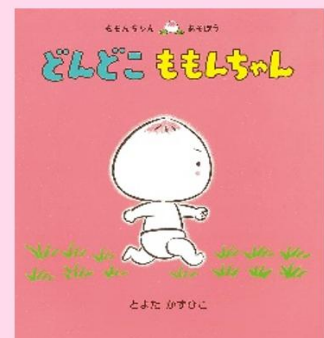
「おせんべやけたかな」のリズムに合わせて、おせんべの絵を一つずつ指さしながら読んでみましょう。ページをめくるたび、おいしそうに焼けたニッコリ笑顔のおせんべが増えていきます。



『ぽんぽんポコポコ』

長谷川 義史／作絵
金の星社

ぽんぽんポコポコ、おなかのたいこを鳴らしているのは誰かな？楽しいリズムを感じながら、お子さんとのふれあいを楽しんでください。



『どんどこももんちゃん』

とよた かずひこ／さく・え
童心社

ももんちゃん、そんなに急いでどこに行くの？赤ちゃんらしい愛らしさと意外なたくましさ、その両方が感じられ、子どもも思わず感情移入。大人にも人気の「ももんちゃんシリーズ」です。

パン ふわふわ



彦坂有紀
もりといずみ
講談社

『パンふわふわ』

彦坂 有紀／作
もりと いずみ作
講談社

ふんわりおいしそうに描かれた、いろいろな種類のパン。子どもたちが好きなオノマトベも声に出して読んでいると、本当に食べているような感覚が楽しめます。

きゅっ きゅっ きゅっ

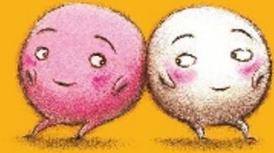


『きゅっきゅっきゅっ』

林 明子／さく
福音館書店

スープをこぼしたねずみさん、「きゅっきゅっきゅっ」ふいてあげるね！やさしくお世話をしようとする男の子のしぐさに、心がほっこりあたたまります。

おしくら・まんじゅう



『おしくら・まんじゅう』

かがくい ひろし／さく
ブロンズ新社

みなでおしくらまんじゅう「ぎゅーぎゅーぎゅー」。くり返しの中にも、ゆかいで意外な展開が待っています。スキップにぴったりの絵本。親子でぎゅーっとくっついて読んでみましょう。



『ぎゅうっだいすき』

きむら ゆういち／さく
偕成社

おなじみのしかけ絵本シリーズです。ページをめくる楽しさを味わいながら、お子さんを「ぎゅう」ってしてあげてください。お子さんも「ぎゅう」って返してくれますよ。



『こちょばここちょばこ』

中川 ひろたか／文
村上 康成／絵
ひかりのくに

こちょこちょしたり、なでなでしたり、ふれあいを楽しみながら読んであげてください。「……」の部分で、たっぶり「ため」を作って読むとわくわく感が高まって、より一層盛り上がります。



『しろくまちゃんの
ほっとけーき』
わかやま けん／え
森 比左志・わだ よしおみ／著
こぐま社

しろくまちゃんがホットケーキ作りに挑戦。「ほたあん、びちびち…」などの音も楽しく、焼きあがる様子にわくわくさせられます。長く読み継がれている「こぐまちゃん」シリーズの1冊です。



『いろいろバス』
tupera tupera／さく
大日本図書

いろいろな色のバスが登場。降りるのはだあれ？そして、乗るのはだあれ？意外なお客さんたちがユーモラスに描かれています。終点でみんなが降りるページは、カラフルでとってもにぎやか。



『おつきさまこんばんは』
林 明子／さく
福音館書店

表紙では静かに目を閉じているおつきさまが、ページをめくるたび様々な表情を見せてくれます。そして最後の最後には「あっかんべー」。夜空に浮かぶおつきさまが身近に感じられるおはなしです。



『どっちのてに
はいってるか?』
新井 洋行／作・絵
偕成社

どちらか片方の手に、何かが入っています。どちらの手に何が入っているのかな？実際にやってみたくなる「どっちでしょ？」の遊び。一緒に想像しながらクイズ形式で気軽に楽しめます。



『おにぎり』
平山 英三／ぶん
平山 和子／え
福音館書店

たきたてごはんでおにぎりづくり。のりをまいて…、わぁおいしそう！ごはんのほかほかさやおにぎりを握っている手のやさしさが伝わってきて、まるで目の前で作ってくれているよう。



『どうぶついろいろ
かくれんぼ』
いしかわ こうじ／作・絵
ポプラ社

人気の型抜きしかけ絵本のシリーズ一作目。どんな動物が出てくるのかな？色や鳴き声、型抜きの穴の形がヒントです。鮮やかな色でくっきりと表現された動物たちが可愛い絵本。